

新春

田村市議会議長
猪瀬 明



平成26年
年頭のごあいさつ

田村市長
富塚 宥 暲



新たな市の礎を市民の皆様とともに

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
市民の皆様には、日ごろの市政各般にわたるご支援とご協力に対し、心から深く感謝申し上げます。

東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から多くの時間が過ぎましたが、放射能の被害は、市民の日常生活はもとより農業や商工業など、未だあらゆる分野に影響を及ぼしております。そして、今もなお、避難生活を余儀なくされている市民の方々のご心労の日々を拝察いたしますと、田村市の復興と市民の皆様への健やかで安らぎのある生活を取り戻すことが何よりも大切だと、改めて心に刻むものであります。

昨年は、田村市震災等復興ビジョンに基づき、田村市放射線健康管理センターによる長期にわたる市民の健康管理体制の構築や放射能除去対策としての除染事業など各種事業を進め、さらには、避難指示解除準備区域での移動販売の開始や都路地域における商業施設整備の着手など、都路町民の方が安心して帰還できる環境に努めてまいりました。

懸念されていた避難指示解除準備区域の市民の帰還につきましても、今春をめどとした避難指示の解除や都路地域の各小中学校や子ども園の再開など、復旧・復興の道を一歩一歩ではありますが、着実に歩んできておりま

す。

開洞四十周年を迎えたあぶくま洞は、さまざまなPR活動やイベントの開催などで、震災後、大幅に減少した入洞者数も回復の兆しが見えはじめました。また、ふくしま産業復興企業立地補助金などを活用した7社の工場増設や、企業誘致による2社の進出決定など就労機会の増加に努めるとともに、市民の皆様への利便性向上のため、磐越自動車道のスマートインターチェンジの新設などに向けて取り組んでまいりました。

今年度は、総合計画の前期基本計画の最終年度であることから、六つの基本方針に基づく各種施策の総仕上げを念頭に事業を積極的に実施するとともに、重要政策に位置づけた「除染・帰還・復興対策」と効果的に連携させながら、復興を加速させ、新たな田村市の礎となる市民と行政の協働によるまちづくりを進めてまいります。さらに市のキャッチフレーズでもある「はつらつ高原都市田村市」に向かい、子どもたちに誇れる明るい未来を創造すべく全力で取り組んでまいる決意でありますので、市民の皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとりまして今年一年がお健やかで幸多い日々でありますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

夢ふくらむ魅力的な田村市に

輝かしい新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから議会活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

地方分権の進展とともに、二元代表制の一翼を担う市議会としてその責任の大きさを日々痛感しております。行政に対する適切な監視はもとより、緊急な課題に応じたさまざまな政策提言を行うなど、議会機能の強化を図りながら、積極的な情報発信に努め、市民の皆さまのご期待と信頼に応えられるよう邁進していく覚悟であります。

現在の議会は、議員定数を26人から4人削減した22人で平成22年にスタートし、まもなく4年が経過しようとしております。この間、行財政改革や議会の改革にも取り組んでまいりました。特に議員定数につきましては、さらに2人を削減し、本年4月に行われる市議会議員選挙から定数を20人としました。今後、も真に市民の負託に応えるため最小の経費で最大の効果を挙げるべく、効率的な議会運営を図ってまいります。

東日本大震災と原発事故からまもなく2年10カ月が過ぎようとしています。いまだに2千2百余の市民の方々が避難生活を余儀なくされるなど、依然として厳しい状況が続いております。このような中において、市民が互いに絆を深め、諦めることなく歩みを進め、

将来の世代に、より強く、より魅力的な田村市になったと語り継がれるようにしなければなりません。

議会といたしまして国・県に対する働きかけを積極的に行うとともに、「安心、安全かつ活力ある田村市の復興」に向けて、さまざまな課題に果敢に取り組んでまいります。

早いもので、田村市が誕生して10年目を迎えます。この間、新市建設計画および田村市総合計画の目標達成のため各般にわたり事業が展開され、計画の具現化が図られてまいりました。また、懸案でありました市役所本庁舎についても、今年12月には完成する予定であります。市のシンボルとしての役割や行政サービスの拠点としてだけでなく、市民の交流の場としても親しまれる庁舎になるものと確信いたしております。

新年を迎えるにあたり、市政を取り巻く環境の変化を的確に捉えらるとともに、議員一人一人がその役割と責任の重さを自覚し、市民の皆さまが豊かさや幸せをより実感できる生活の実現に向け、全力を尽くしてまいります。協力をお願いします。どうか、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、市民の皆さまにおかれまして、本年が幸多き年でありませう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

